

＼ 第3弾 手指編 ＼

スプリントワークショップ 2024

手関節・手指のリハビリテーションとスプリンティング

手関節や手指の疾患に臨床で接する機会は数多くありますが、疾患別のスプリントに特化して基礎から学べるセミナーは多くはありません。今回は、疾患別に「基礎と評価」「リハビリプログラムとスプリント」をシリーズで講義いただきます。ハンズオンでは講義に出てくる主なスプリントを作成します。

臨床では、いかに『早く』目的に合わせて『正しく』しかも対象者に満足してもらえるよう『美しく』スプリントを作成することが求められます。実技を通して『早く・正しく・美しく』作成できるノウハウを理解することで、すぐに臨床で活かせるスキルを身につけていただけたと思います。

久しぶりに整形
疾患の患者を診
ることになった

医師に
スプリント作成
提案ができない

リハビリプログラム
を理解したい

スプリントを
うまく作れない

スプリントを
活用しきれない

どのスプリント
がいいのか
わからない

開催日 | 手指編 9月22日(日)10:00～17:00

講師 | 仲木 右京 先生 東京ハンドセラピー研究会 会長

都立府中リハビリテーション専門学校卒業後、主に都立病院の作業療法立ち上げに貢献しながら、ハンドセラピーを推進。
日本ハンドセラピー学会の理事在任時に学会主催のスプリントセミナー、手の評価セミナーを企画し、メイン講師を担当。
第21回日本ハンドセラピー学会学術集会会長。現在は、フリーランスとして柏ハンドクリニック、中川整形外科、前田整形外科、
とごし整形外科&手のクリニックなど手外科医と協働しながらハンドセラピーの臨床で活躍中。

会場 | 酒井医療株式会社 本社 東京都新宿区山吹町 358-6 〒162-0801

募集 | 30名程度

参加費 | 6,000円

申し込みフォーム

※当日は、参加費・筆記用具・バスタオル・スプリントバサミなどの作成道具をご持参ください。
※日曜日のため、会場周辺の飲食店が多数休業いたします。昼食をご用意いただくことをお勧めします。
会場にもオフィスグリコがあり軽食のご購入は可能です。
※当日は、スプリントバサミ等の物販もいたします。ぜひご利用ください。
※セミナー終了後に、懇親会を行います。是非ご参加ください。



共催:東京ハンドセラピー研究会

お問い合わせ

酒井医療株式会社 リハビリテーション推進部(担当:飯塚)

TEL:03-5227-5775 E-mail:splint@sakaimed.co.jp

手指編 セミナースケジュール

- 9:30 受付開始
- 10:00 手指のスプリンティングについて
- ①手指関節症のハンドセラピー
- ②手指拘縮のハンドセラピー
- 12:00 昼休憩
- 13:00 ハンズオンセッション
- ①ヘバーデン リングスプリント作成
- ②PIP関節伸展ダイナミックスプリント作成
- 16:30 質疑応答
- 17:00 終了

変形性 手指関節症

急性期

- 強い腫脹や熱感などの炎症症状
- 強い安静時痛、動作時痛
- 把持動作やつまみ動作で支障
- ミューカス細胞を伴う

緩解期

- 炎症症状はないが関節の腫脹
- 強く屈曲したとき、ぶつけると痛む
- 関節の変形
- 作業量に応じて炎症が再燃

安定期

- 痛みはなくなる
- 変形が残存
- 可動域の制限が残存



6.手指拘縮

- 何の拘縮なのかを検討する
- 優先順位を考える
- セラピースケジュールを考える
- スプリントデザイン
- 対象者とのコンセンサス

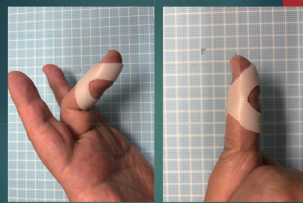


原因	方法	解釈
骨・軟骨性	X線写真像の確認	関節関節の微小化 関節拘縮
皮膚性	皮膚の弛緩性張 線状疤痕の存在	疤痕の癒、弛緩 伸張→高直化
筋性	【屈曲側】 ・dynamic tenodesis test陽性 【伸張側】 ・intrinsic plus test 陽性 ・extrinsic plus test陽性	筋群の弛緩・変性 手内筋の弛緩・変性 外束筋の弛緩・変性
腱性	dynamic tenodesis test陽性	腱の癒着
関節周囲組織性	dynamic tenodesis test陽性	関節包、靭帯などの弛緩・柔軟性低下

拘縮

- 1 コラーゲン生成亢進
- 2 架橋結合が過剰
- 3 コラーゲン配列の乱れ
- 4 組織の繊維化・癒着化

ヘバーデンリングスプリント



PIP,DIP関節伸展スプリント

